

2018年（公社）福島青年会議所 「樺」

氏名：白坂 洋夢

タイトル「地域づくり会社として」

1、企業名「株式会社 福島民報社」



2、業種「マスコミ、製造業」

3、企業理念や目標

「福島民報は社会の公器たる使命の貫徹にまい進するとともに、正確敏速なる報道により、日本一の地方新聞をつくる」ことを弊社の社是にあげております。

事業内容としては、日刊新聞の発行、書籍の出版・販売、スポーツ・文化事業を展開。それ以外にも、地域活性化の一助として地域づくり会社を目指して日々活動しております。

4、会社の話

福島民報社は明治25年（1892年）8月1日の創刊以来、県民紙として親しまれながら福島県民とともに歩んでまいりました。昭和52年に福島市太田町に現社屋「民報ビル」を建設。平成7年には、福島市佐倉下に最新の輪転機を備えた「福島民報印刷センター」を建設。今年創刊126周年を迎え、二本松市に新印刷工場が建設され今年の11月から本格的に稼働をし、今まで以上に読みやすく、情報が多い新聞を皆様にお届けする予定です。福島民報社は、今後とも多様化する情報社会、日進月歩の技術革新に対応し、さらには地域密着をモットーに読者の皆様に愛される新聞を目指していきます。

◆県内支社数（8）

・会津若松、いわき、白河、伊達、南相馬、須賀川、喜多方、二本松

◆県外支社数（3）

・東京、大阪、仙台

◆県内支局数（15）

・飯坂、川俣、本宮、石川、棚倉、田村、猪苗代、会津坂下、会津美里、南会津
勿来、小名浜、双葉南（旧富岡）、双葉北（旧浪江）、相馬

5、J Cに入って良かった事（社業に活かせた話）

各業種でお勤めの方々とお話しができる機会があり、業界の現状を勉強することができ自分の知識にもなる面と、さらには社業にも活かせる情報も聞けることが良いと感じています。

さらに社業だけではなく、個人としての成長にもつながると感じています、

6、J Cに入って良い影響を及ぼせた事

正直、まだありません。

しかし、今後のJ C活動の中で行動力・判断力・統率力は養われていくのではと感じております。理由としては、長年J C活動をされている先輩方を見ていると常にアグレッシブかつパッションに溢れる方々ばかりなので、私も少しでもその部分を学んでいきたいと思っております。